



センタースピーカ WITH パワーアンプ

TDX700C

取付説明書

090003-30370700

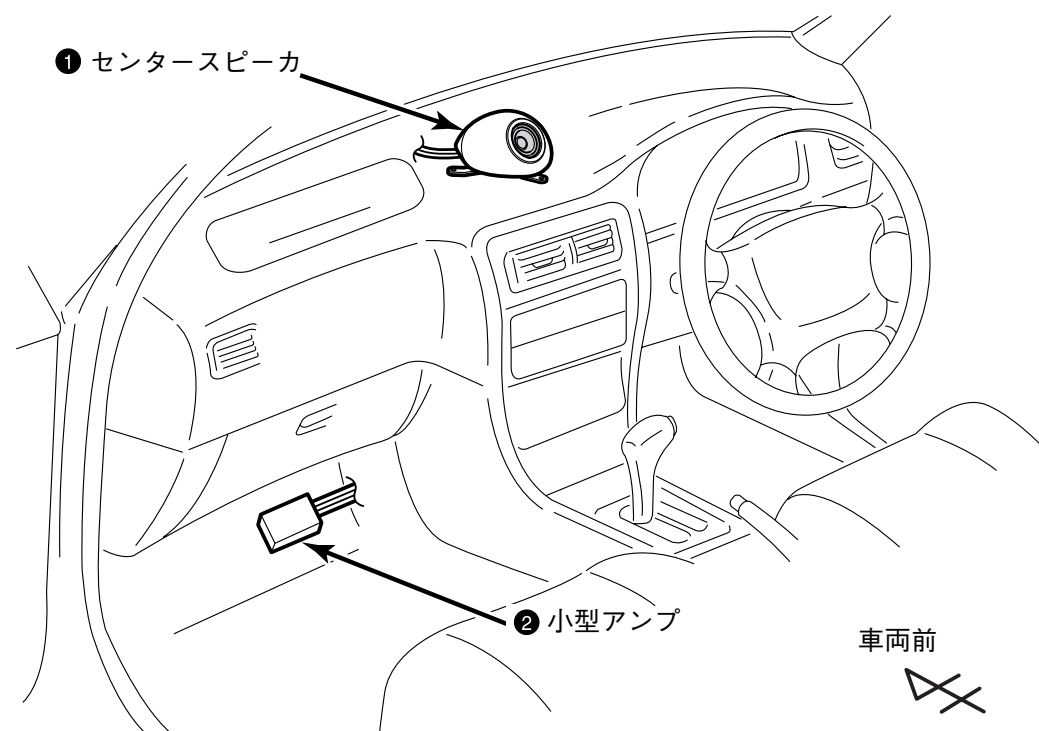
お客さまへのお願い

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。
指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。
本機の取り付けには、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお薦めします。
「取付説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

ー販売店様へー

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

取付概要図

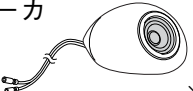


FUJITSU TEN

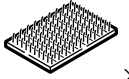
●構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

●本体関係

① センタースピーカ  ×1	② 小型アンプ  ×1	③ RCAコード 1.5m  ×1
--	---	---

●取付用部品

④ マジックテープ オス (目の粗い方)  ×1	⑤ マジックテープ メス (目の細かい方)  ×1	⑥ 六角穴タッピングスクリュー (φ4×20)  ×3
⑦ 六角レンチ  ×1	⑧ プチルテープ  ×1	⑨ 固定ブラケット  ×1
⑩ 皿ネジ (M3×8)  ×4	⑪ クランプ  ×2	

※その他の構成部品 (取付説明書、保証書、シールなどの資料類)

●作業の進め方

- 1) 構成部品の確認 (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーの⊖端子を外す
- 3) 接続を確認する (☞ システム接続例)
- 4) スピーカを取り付ける (☞ スピーカの取り付けについて)
- 5) 配線する
- 6) バッテリーの⊖端子を元に戻す

●安全に正しくお使いいただくために

- この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- 本機取り付けのために必ず守っていただきたいこと、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。


アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

警告

- 本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。
- 本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。
- 車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。
- 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。
- 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。
- コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくことと事故の原因となり危険です。
- 電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

- 本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。
- 音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故・火災・感電の原因となります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用する。規定容量を越えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- 万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機取り付けと配線しない。エアバッグ動作を妨げる場所に取付・配線すると交通事故の際、エアバッグシステムが正常に動作しないため、事故の原因となります。
- 視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。
- ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。
- スピーカー端子が車両部品、ボデー等と干渉や接触しないように取り付ける。事故・火災・感電の原因となります。

注意

- 本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。
- 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあります。危険です。
- 雨が吹き込むところなど、水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。本機に水や湿気、埃、油煙が混入しますと、発煙や発火、故障の原因となることがあります。
- しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。
- 取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
- エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグが誤動作する原因となることがあります。
- 車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。
- コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。
- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご利用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- 本機を車載用以外には使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

●スピーカの取り付けについて

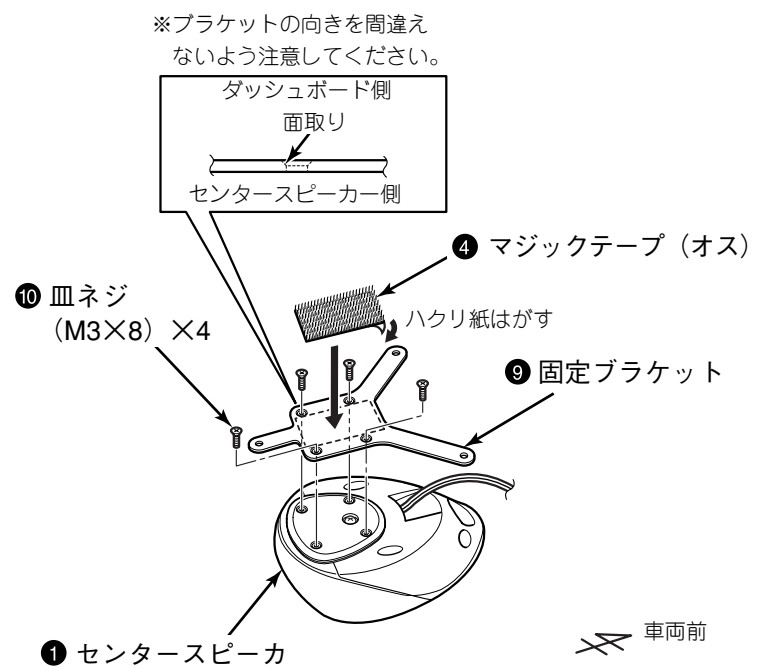
●取り付け上のご注意


警告

- スピーカの取付けは、必ず付属のネジとマジックテープを併用して確実に固定する。付属のネジを使用せずにマジックテープのみの取り付けをすると、はずれて思わぬケガや事故の原因となりますので大変危険です。また、取付ネジがダッシュ内に埋込まれている車の配線類に触れないよう、十分な距離があることをご確認ください。
- スピーカを可動部（サンバイザー・エアバッグ部等）へ取り付けない。事故やケガの原因となります。

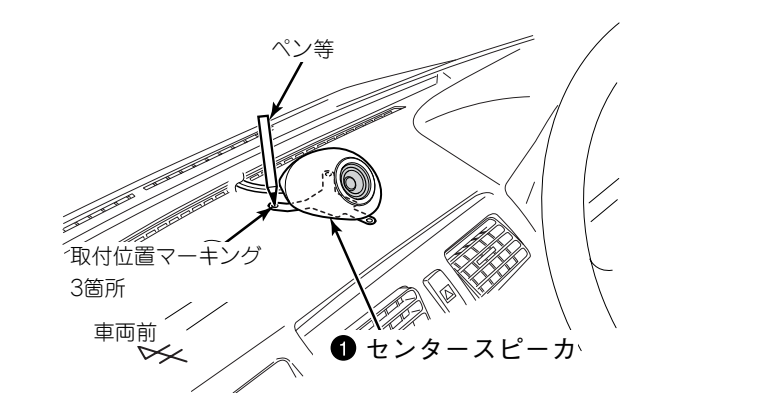
1 スピーカを組み立てる

- ① 固定ブラケットをセンタースピーカの裏面に皿ネジで取り付ける。
- ② マジックテープ（オス）のハクリ紙をはがし、固定ブラケットに貼り付ける。



2 センタースピーカの取付位置を決める

- ① 固定ブラケットの取付穴を利用してダッシュボードに取付穴位置（3ヶ所）をマーキングする。



3 取付位置に穴を開ける

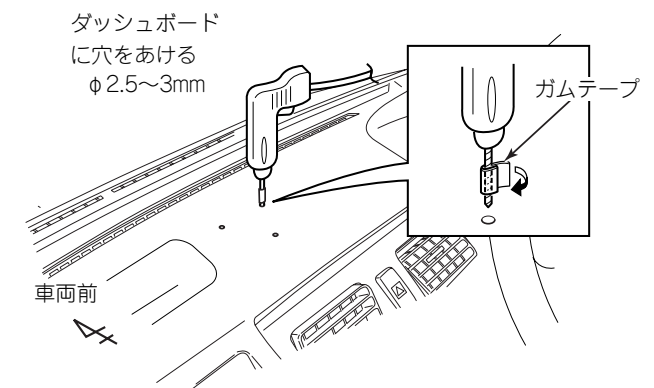
- ① 取付穴（φ2.5～3）2ヶ所の穴をあける。


警告

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。

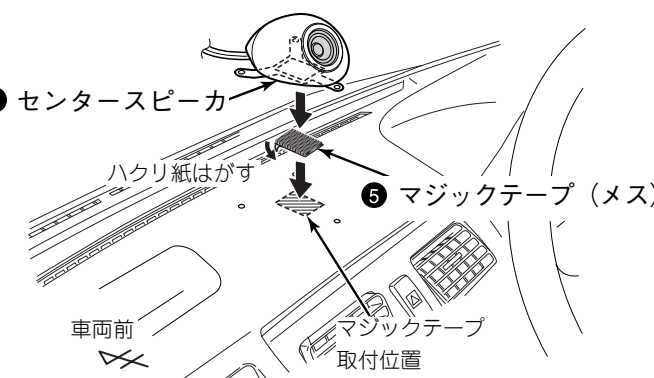
アドバイス

ドリルの刃の先端を少し残し、ドリル刃に市販のガムテープ等を巻き付けてドリル刃が必要以上挿入されないよう加工してください。



4 センタースピーカをマジックテープで取り付ける

- ① マジックテープ（メス）のハクリ紙をはがし、ダッシュボードに貼り付ける。
- ② センタースピーカをマジックテープでダッシュボードに取り付ける。

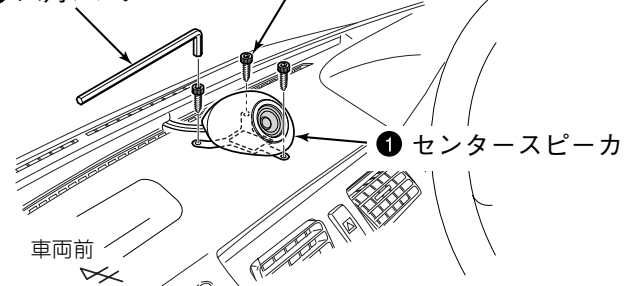


5 センタースピーカを取り付ける

- ① センタースピーカを六角穴タッピングスクリューで取り付ける。

⑥ 六角穴タッピングスクリュー (φ4×20) ×3

⑦ 六角レンチ

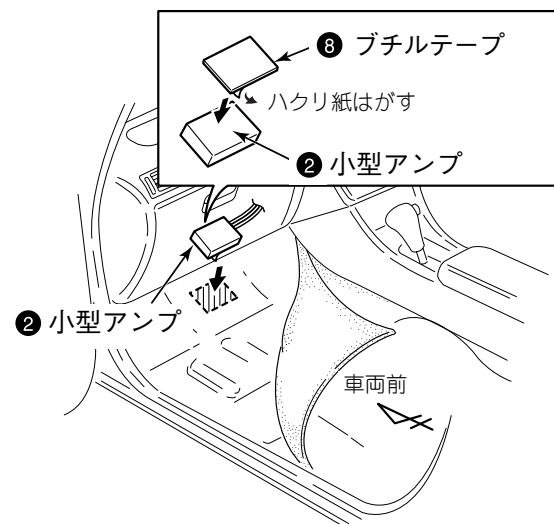


6 小型アンプを取り付ける

- ① 小型アンプの裏面にブチルテープを貼り付ける。
- ② 助手席足元のカーペット下のフロア部分に小型アンプを貼り付ける。

アドバイス

- 小型アンプは、各コードがスピーカ取付位置、メインユニット取付位置まで届く範囲で取付位置を決めてください。
- 貼り付ける前に貼り付け位置表面の汚れ、水分、油分を十分にふき取ってください。

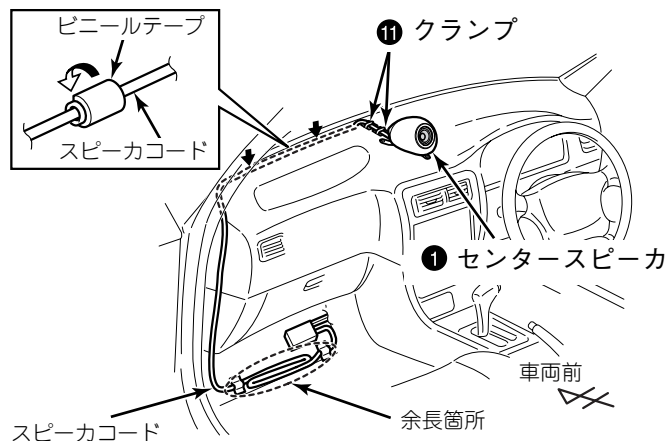


7 スピーカコードを配線する

- ① スピーカコードをクランプで固定する。
- ② スピーカコードをフロントガラスとダッシュボードの隙間に押し込み配線する。
- ③ スピーカコードを小型アンプ取付位置まで配線する。

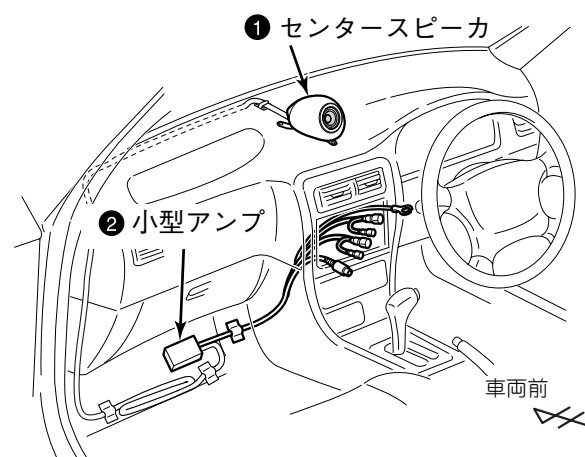
アドバイス

- スピーカコードがフロントガラスとダッシュボードの隙間におさまらない場合は市販のビニールテープ等を巻いて配線してください。
- 余ったコードは束ねて余長箇所にてテープ等で固定して下さい。



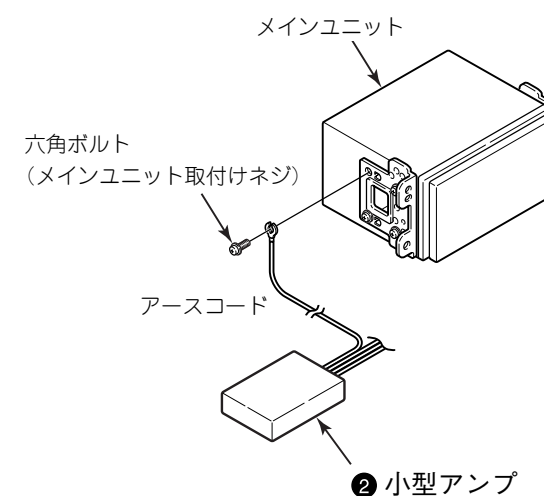
8 その他のコードを配線する

- ① 小型アンプの電源コード、RCAコード、アースコードをメインユニット取付位置まで配線する。



9 アースコードを取り付ける

- ① スピーカのアースコードをメインユニットに取付ボルトで固定する。



●システム接続例



警告

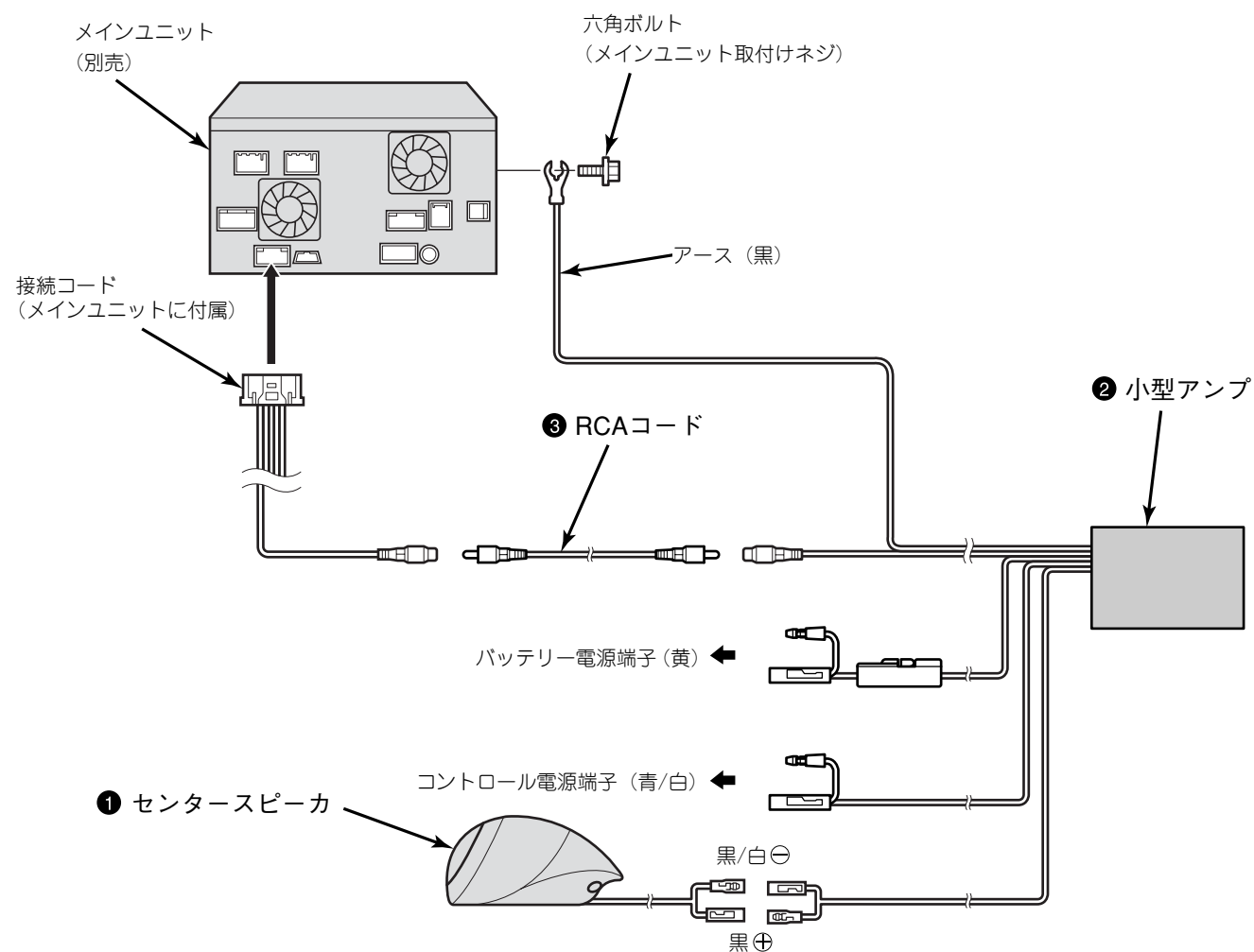
●電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

●コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。



アドバイス

●メインユニットに接続する前にスピーカの取付及び配線を行ってください。



●仕様

— 本機の仕様および外観は、改善のために予告なく変更することがあります。 —

[アンプ部]

定格出力： 20W

最大消費電流： 4A

最大出力： 40W

高調波歪率： 0.1%以下

周波数特性： 20Hz～20kHz

電圧電源： DC14.4V

マイナスアース車用

外形寸法： 幅50mm×高さ35mm×奥行き76mm

質量： 約260g

[スピーカ部]

種類： 5cmフルレンジスピーカ

定格入力： 20W

瞬間最大入力： 60W

出力音圧レベル： 83dB/w・m

再生周波数帯域： 120Hz～30kHz

外形寸法： 幅129mm×高さ80mm×奥行き154mm

インピーダンス： 4Ω

質量： 約400g (付属品含まず)